

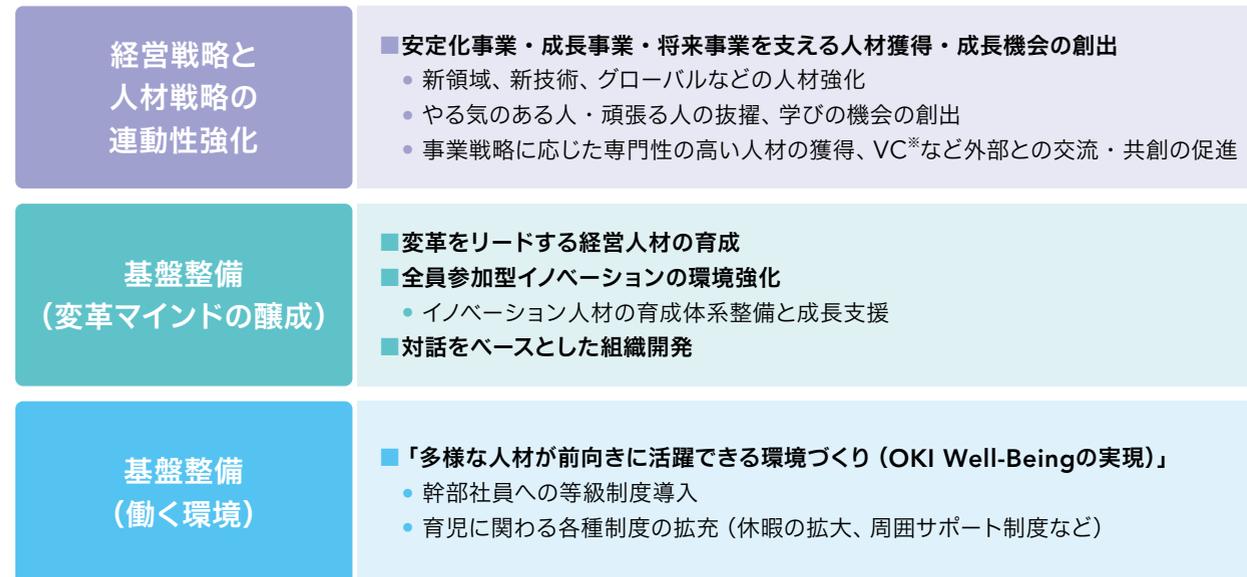
人材戦略

価値創造を推進する人的資本経営の強化

OKIグループは、社会環境の変化に対応し持続的に発展していくうえで、人材を最も重要な経営資本の一つとして位置づけています。中期経営計画2025において、マテリアリティの一つである「価値を創出し続ける企業文化への変革」の取り組みテーマの一つとして「多様な人材が前向きに活躍できる施策の推進」を掲げ、多様な人材が、組織と個人のベクトルを合わせて前向きに挑戦し成長できるように、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、人材の成長支援、働きがいのある組織風土の醸成、働きやすい環境の整備を推進してきました。

まず、2023年度は多様な人材が前向きに活躍できる礎として、ウェルビーイングに着目した環境整備に注力しました。その結果として、社員一人ひとりの働きやすさ・働きがいへの満足度は向上しましたが、一方で環境整備に向けたより一層の取り組みの必要があると認識しています。また、将来の経営を担う経営人材、イノベーションおよびグローバルなどの経営戦略を支える人材の成長支援の仕組みについても、取り組みを推進・強化しています。

したがって、今後は経営戦略を実現していくための人材戦略の策定にあたり、As-IsとTo-Beのギャップを定量的に把握し、課題を特定し取り組むことで、経営戦略との連動性を一層強化していきます。その過程において社員の変革マインドの醸成と行動変容を促し、組織風土にまで醸成することで価値創造の推進につなげていきます。



※VC：ベンチャーキャピタル

人的資本経営の進化 – 将来のあるべき姿に向かって人材価値を最大化

人材戦略の策定において重要な経営戦略との連動性をより一層高めていくために、事業ポートフォリオの変革に応じて、As-IsとTo-Beのギャップを踏まえながら動的な人材ポートフォリオの質と量の計画を策定し、ダイナミックに施策を展開していくことが必要です。

そのためには、経営戦略に応じた求める人材の要件の明確化および人材のタイムリーな可視化を行います。加えて、多様な人材が集い、主体的にかつ意欲的に働くことができる環境を整備することで、求める人材への会社の魅力訴求と従業員エンゲージメントのさらなる向上を通じて、ダイバーシティ&インクルージョンを本格的に推進していきます。

こうした認識のもと、人材マネジメントを支えるあらゆる仕組みをさらに整備していくとともに、経営戦略の実現に必要な人材の獲得、必要な経験・スキルの蓄積と開発を図る人材育成、社員の成長支援、ならびに組織風土の醸成などにつながる各種施策をさらに強化・展開していきます。また、若手の抜擢にも注力していきます。

多様な人材の活躍、社員の自律的キャリア形成、組織のパフォーマンス最大化を図る取り組みを推進することで「価値を創出し続ける企業文化への変革」を実現していきます。

